

令和7年度

小・中学生フォーラム in 東戸山小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月30日（木）、東戸山小学校（戸山2-34-2、校長：宇山幸宏）の5年生21名が、「AIといっしょにつくる、ずっと住みたい新宿の未来」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、生成AIを用いて、新宿区がどうしたら持続可能なよりよいまちになるのか調べて発表し、災害時にドローンなどで生活必需品を運べるようにしてほしいという提案や、一人ひとりにあった学習指導を行うAIの導入など、様々な提案を区長に行いました。

最後に児童たちは、未来の自分を生成AIで描き、「目標をしっかり持って努力していきたい。人間が得意なこと、AIが得意なこと、それぞれのよさを生かし、安心して生活できる未来にしていきたい。」と、締めくくりました。

区長は、児童たちの、生成AIには課題も多くあることを意識して学習に使用しているという姿勢に賛同し、「道具を使いながらも、なぜこうなるのかということを自分たちで理解して、自分の考えを持ってほしい。道具に使われるのではなくて、自分たちがうまく活用していくということを意識し続けてほしい。」と話しました。

身近なAIとの向き合い方や自分たちのまちについて改めて考えるきっかけとなる、有意義なフォーラムとなりました。

